

JHL NEWS

No.11

2013年11月11日

●発行●
日本ハンドボールリーグ機構
会長 多田 博
東京都渋谷区神南1-1-1
電話 03-3481-2494

大同、オムロンが首位を奪回！

～第38回 日本ハンドボールリーグ・第10週～

第38回日本ハンドボールリーグ・第10週は11月9日に富山などで男子4試合、女子1試合が行われ、前半折り返しとなる男子は1位のトヨタ車体が湧永製薬に1点差で苦杯をなめ、琉球コラソンを破った大同特殊鋼が首位を奪回。女子もオムロンが北國銀行を後半一気に突き放して快勝、今週試合がなかった広島メイプルレッズに代わって首位に返り咲いた。

愛知の大同－琉球は、10分過ぎから大同がGK東の好セーブで琉球の得点を食い止めると、野村のサイドシュートを皮切りに4連取し、18分7-3と優位に立った。琉球も村山、連らで追いつぐも、前半だけで5点を奪った加藤の活躍もあり、10-8と大同リードで前半終了。後半立ち上がり、前半にも増して高い位置でプレッシャーを与える琉球ディフェンスが大同のオフェンスリズムを崩すことに成功。攻めても榎本らの速攻などで4連取し、10分13-12と逆転した。しかし、ここから大同が守りを固めてペースを取り戻すと、平子、地引の速攻などで一気に5連取、15分過ぎには逆に17-13と4点リードを奪う。その後も激しいディフェンスから追撃を試みる琉球だったが、大同のリードを縮めることができず、21-17で大同が勝利した。

広島の湧永－車体は、成田で先制した湧永が8分までに6-1と先行。車体もテンポのよい機動力ある攻撃からチャンスを作るが湧永GK・志水のファインセーブに阻まれて苦戦。その後、門山を投入して反撃した車体に対し、湧永は志水が7mスロー、ノーマークをセーブして流れを車体に渡さず、13-10とリードして前半を終えた。後半も今井、成田、樋口らで加点した湧永が主導権をキープ。中盤以降は湧永が樋口、佐藤らで得点すれば、車体も崎前、渡部らで応戦して一進一退の攻防に。27分に湧永が1人退場となり、マンツーマンで勝負に出た車体が猛追、残り1分を切って1点差に迫った。そして、残り16秒でタイムアウトを取った車体がラストの攻撃にかけたが、湧永・志水がサイドシュートを阻んで試合終了。最初から最後まで志水の神がかり的なセーブが光った試合だった。

石川での北國－オムロンは、北國がディフェンスから速攻で塩田、田邊が3連取して好スタート。対するオムロンは藤井のロング、ランニングシュートなどで反撃した。中盤までシーソーゲームが続く中、オムロン・松本のサイドシュート、北國・田邊のスカイプレーなど両チームとも見応えのあるゲームが展開され、手に汗握る攻防が繰り広げられた。13-12と北國リードを迎えた後半立ち上がり、両チームともに攻守のリズムが作れない中、5分過ぎからオムロンは永田、石立、澤田の3連取で主導権を握る。北國はオムロンゴールを攻め立てるもなかなか得点をあげられない時間帯が続き、途中、上町を投入して必死に挽回を図ったが、オムロンは慌てることなく着実に加点。終盤、藤井、松本らでラストスパートをかけたオムロンが27-19と8点差をつける圧勝で試合が終わった。

次週は宮城などで男子のみ4試合が行われる。再び首位に立った大同は順当に白星をものにしそう。2位に回った車体は琉球コラソン相手にどんな戦いぶりをみせるか。上位陣に挑むトヨタ自動車東日本、豊田合成の奮戦にも注目が集まる。

第11週の日程

11月16日(土)	宮 城	大和町総合体育馆(市営地下鉄線泉中央駅よりバス(上町行)「上町」下車、車10分)	13:00~	(男)	トヨタ自動車東日本 × 湧 永 製 薬
	福 井	北陸電力福井体育馆フレア(えちぜん鉄道「観音町駅」徒歩5分)	14:00~	(男)	北 陸 電 力 × 大 同 特 殊 鋼
	愛 知	TGアリーナ(名鉄名古屋本線国府宮駅より名鉄バス「稻沢市役所」下車徒歩8分)	15:00~	(男)	豊 田 合 成 × 大 崎 電 気
	沖 縄	浦添市民体育馆(琉球バス(90番具志川行)「浅野浦」下車徒歩1分)	14:00~	(男)	琉 球 コ ラ ソ ン × ト ヨ タ 車 体



首位奪回に成功した①大同特殊鋼・加藤
②オムロン・藤井

男女個人ランキング 第10週終了現在

《男子》

《女子》

得点王

1 玉井 宏章	(トヨタ自動車東日本)	59点	(8試合)	1 宋 海林	(メイプルレッズ)	74点	(10試合)
2 赤塚 孝治	(北陸電力)	56点	(8試合)	2 藤井 紫緒	(オムロン)	73点	(10試合)
3 信太 弘樹	(大崎電気)	55点	(8試合)	3 原 希美	(バイオレットアイリス)	71点	(11試合)
4 成田 幸平	(湧永製薬)	46点	(8試合)	4 藤井 保奈美	(ソニーセミコンダクタ)	70点	(10試合)
5 高景 淳	(大同特殊鋼)	45点	(8試合)	5 高山 智恵	(メイプルレッズ)	54点	(10試合)
6 村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	43点	(8試合)	5 河田 知美	(北國銀行)	54点	(10試合)
7 村山 裕次	(琉球コラソン)	41点	(8試合)	7 増田 寛那	(メイプルレッズ)	52点	(10試合)
8 藤山 岳士	(トヨタ紡織九州)	40点	(8試合)	8 田中美音子	(ソニーセミコンダクタ)	43点	(10試合)
8 濱口 直大	(トヨタ自動車東日本)	40点	(8試合)	9 福井 美樹	(H.C.名古屋)	42点	(10試合)
10 豊田 賢治	(大崎電気)	36点	(8試合)	10 横嶋 彩	(北國銀行)	39点	(10試合)
10 松本 雅史	(トヨタ自動車東日本)	36点	(8試合)	11 高橋 恵	(ソニーセミコンダクタ)	38点	(10試合)
10 吉田 翔太	(トヨタ自動車東日本)	36点	(8試合)	11 金 恵	(飛騨高山ブラックブルズ岐阜)	38点	(10試合)
10 門山 哲也	(トヨタ車体)	36点	(8試合)				

フィールド得点

1 信太 弘樹	(大崎電気)	55点	(8試合)	1 宋 海林	(メイプルレッズ)	64点	(10試合)
2 玉井 宏章	(トヨタ自動車東日本)	54点	(8試合)	2 藤井 紫緒	(オムロン)	55点	(10試合)
3 成田 幸平	(湧永製薬)	46点	(8試合)	2 原 希美	(バイオレットアイリス)	55点	(11試合)
3 赤塚 孝治	(北陸電力)	46点	(8試合)	4 高山 智恵	(メイプルレッズ)	54点	(10試合)
5 高景 淳	(大同特殊鋼)	45点	(8試合)	5 藤井 保奈美	(ソニーセミコンダクタ)	46点	(10試合)
6 村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	43点	(8試合)	6 田中美音子	(ソニーセミコンダクタ)	43点	(10試合)
7 濱口 直大	(トヨタ自動車東日本)	40点	(8試合)	7 増田 寛那	(メイプルレッズ)	41点	(10試合)
8 村山 裕次	(琉球コラソン)	39点	(8試合)	8 福井 美樹	(H.C.名古屋)	39点	(10試合)
9 豊田 賢治	(大崎電気)	36点	(8試合)	9 高橋 恵	(ソニーセミコンダクタ)	38点	(10試合)
9 松本 雅史	(トヨタ自動車東日本)	36点	(8試合)	10 横嶋 彩	(北國銀行)	37点	(10試合)
9 門山 哲也	(トヨタ車体)	36点	(8試合)	11 横嶋 かおる	(北國銀行)	36点	(10試合)

シュート率 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	43点/ 60射 0.717	1 高山 智恵	(メイプルレッズ)	54点/ 74射 0.730
2 豊田 賢治	(大崎電気)	36点/ 51射 0.706	2 高橋 恵	(ソニーセミコンダクタ)	38点/ 54射 0.704
2 松本 雅史	(トヨタ自動車東日本)	36点/ 51射 0.706	3 田中美音子	(ソニーセミコンダクタ)	43点/ 75射 0.573
4 門山 哲也	(トヨタ車体)	36点/ 58射 0.621	4 横嶋 彩	(北國銀行)	37点/ 66射 0.561
5 信太 弘樹	(大崎電気)	55点/ 92射 0.598	5 藤井 保奈美	(ソニーセミコンダクタ)	46点/ 86射 0.535
6 高景 淳	(大同特殊鋼)	45点/ 77射 0.584	6 藤井 紫緒	(オムロン)	55点/ 104射 0.529
7 玉井 宏章	(トヨタ自動車東日本)	54点/ 95射 0.568	7 宋 海林	(メイプルレッズ)	64点/ 126射 0.508
8 成田 幸平	(湧永製薬)	46点/ 84射 0.548	8 増田 寛那	(メイプルレッズ)	41点/ 92射 0.446
9 赤塚 孝治	(北陸電力)	46点/ 100射 0.460	9 原 希美	(バイオレットアイリス)	55点/ 152射 0.362
10 濱口 直大	(トヨタ自動車東日本)	40点/ 91射 0.440	10 福井 美樹	(H.C.名古屋)	39点/ 110射 0.355
11 村山 裕次	(琉球コラソン)	39点/ 94射 0.415			

7mスロー得点

1 藤山 岳士	(トヨタ紡織九州)	16点	(8試合)	1 藤井 保奈美	(ソニーセミコンダクタ)	24点	(10試合)
2 東長濱 秀希	(大崎電気)	12点	(8試合)	2 河田 知美	(北國銀行)	22点	(10試合)
3 野田 祐希	(豊田合成)	11点	(8試合)	3 藤井 紫緒	(オムロン)	18点	(10試合)
4 赤塚 孝治	(北陸電力)	10点	(8試合)	4 原 希美	(バイオレットアイリス)	16点	(11試合)
4 渡部 仁	(トヨタ車体)	10点	(8試合)	5 増田 寛那	(メイプルレッズ)	11点	(10試合)
6 水野 裕矢	(琉球コラソン)	9点	(8試合)	6 金 恵	(飛騨高山ブラックブルズ岐阜)	10点	(10試合)
7 平子 卓人	(大同特殊鋼)	8点	(8試合)	6 宋 海林	(メイプルレッズ)	10点	(10試合)
8 樋口 瞳	(湧永製薬)	7点	(8試合)	8 柴田 理紗	(飛騨高山ブラックブルズ岐阜)	7点	(9試合)
9 玉井 宏章	(トヨタ自動車東日本)	5点	(8試合)	9 池原 綾香	(バイオレットアイリス)	6点	(11試合)
9 連基徳	(琉球コラソン)	5点	(8試合)	9 吉田 起子	(オムロン)	6点	(11試合)

シュート阻止率 (フィールドシュートを受けた数が、男子9位・女子7位以内のGKが対象)

1 甲斐 昭人	(トヨタ車体)	106本/ 255射 0.416	1 藤間 かおり	(オムロン)	154本/ 326射 0.472
2 木村 昌丈	(大崎電気)	58本/ 140射 0.414	2 寺田 三友紀	(北國銀行)	132本/ 296射 0.446
3 志水 孝行	(湧永製薬)	110本/ 272射 0.404	3 飛田 季実子	(ソニーセミコンダクタ)	121本/ 297射 0.407
4 藤堂 聖二	(豊田合成)	92本/ 271射 0.339	4 毛利 久美	(バイオレットアイリス)	128本/ 318射 0.403
5 川添 将典	(北陸電力)	97本/ 288射 0.337	5 田 口 舞	(メイプルレッズ)	100本/ 251射 0.398
6 松野 雅崇	(トヨタ紡織九州)	61本/ 187射 0.326	6 戸塚 純子	(H.C.名古屋)	121本/ 350射 0.346
7 関口 勝志	(トヨタ自動車東日本)	109本/ 341射 0.320	7 菊池 麻美	(飛騨高山ブラックブルズ岐阜)	87本/ 328射 0.265
8 久保 侑生	(大同特殊鋼)	48本/ 153射 0.314			
9 石田 孝一	(琉球コラソン)	71本/ 230射 0.309			

7mスロー阻止率 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 内田 武志	(琉球コラソン)	11本/ 19射 0.579	1 藤間 かおり	(オムロン)	9本/ 33射 0.273
2 有江 啓	(北陸電力)	4本/ 10射 0.400	1 戸塚 純子	(H.C.名古屋)	3本/ 11射 0.273
3 志水 孝行	(湧永製薬)	3本/ 8射 0.375	3 瀧澤 瞳子	(H.C.名古屋)	3本/ 13射 0.231
4 木村 昌丈	(大崎電気)	3本/ 11射 0.273	4 毛利 久美	(バイオレットアイリス)	5本/ 23射 0.217
5 藤戸 量介	(豊田合成)	4本/ 16射 0.250	5 山根 エレナ	(バイオレットアイリス)	3本/ 15射 0.200
6 木下 国大	(トヨタ車体)	3本/ 17射 0.176	6 山中 絵里奈	(オムロン)	2本/ 11射 0.182
6 関口 勝志	(トヨタ自動車東日本)	3本/ 17射 0.176	7 菊池 麻美	(飛騨高山ブラックブルズ岐阜)	5本/ 29射 0.172

第38回日本ハンドボールリーグ成績表

第10週第1日終了 11月9日

順位	男子	大同特殊鋼	トヨタ車体	大崎電気	湧永製薬	トヨタ紡織九州	琉球コラソン	トヨタ自動車東日本	豊田合成	北陸電力	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大同特殊鋼		25 ● ○ 30	28 ○ ○ 26	21 ○ ○ 19	30 ○ ○ 24	21 ○ ○ 17	29 ○ ○ 27	30 ○ ○ 22	34 ○ ○ 18	8	7	0	1	14	218	183	35
2	トヨタ車体	30 ○ 25		30 ○ ○ 29	25 ● ○ 26	29 ○ ○ 24	32 ○ ○ 28	33 ○ ○ 23	27 ○ △ 27	33 ○ ○ 21	8	6	1	1	13	239	203	36
3	大崎電気	26 ● 28	29 ● 30		30 ○ ○ 27	33 ○ ○ 28	25 ○ ○ 21	33 ○ ○ 32	25 ○ ○ 22	36 ○ ○ 24	8	6	0	2	12	237	212	25
4	湧永製薬	19 ● 21	26 ○ 25	27 ● 30		30 ● ○ 34	34 ○ ○ 22	29 ○ ○ 29	26 ○ ○ 22	23 ○ ○ 19	8	4	1	3	9	214	202	12
5	トヨタ紡織九州	24 ● 30	24 ● 29	28 ● 33	34 ○ 30		23 ○ ○ 22	41 ○ ○ 24	33 ● 34	34 ○ ○ 24	8	4	0	4	8	241	226	15
6	琉球コラソン	17 ● 21	28 ● 32	21 ● 25	22 ● 34	22 ● 23		31 ○ ○ 27	27 ○ ○ 26	25 ○ ○ 20	8	3	0	5	6	193	208	-15
7	トヨタ自動車東日本	27 ● 29	23 ● 33	32 ● 33	29 △ 29	24 ● 41	27 ● 31		33 ○ 30	32 ○ ○ 22	8	2	1	5	5	227	248	-21
8	豊田合成	22 ● 30	27 △ 27	22 ● 25	22 ● 26	34 ○ 33	26 ● 27	30 ● 33		27 ○ 23	8	2	1	5	5	210	224	-14
9	北陸電力	18 ● 34	21 ● 33	24 ● 36	19 ● 23	24 ● 34	20 ● 25	22 ● 32	23 ● 27		8	0	0	8	0	171	244	-73

順位	女子	オムロン	広島メイプルレッスン	北國銀行	ソニーセミコンダクタ	三重ハイオレットアイス	飛騨高山ブラックブルズ岐阜	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差	
1	オムロン		24 22 ○ ● ○ 24	26 27 △ ○ 26 19	22 25 ○ △ 21 25	24 32 ○ ○ 17 12	23 ○ 21	24 30 ○ ○ 7 16	11	8	2	1	18	279	211	68	
2	広島メイプルレッスン	23 24 ● ○ 24 22		22 28 ● ○ 33 21	26 27 ○ ○ 22 20	30 28 ○ ○ 25 20	39 ○ 17	30 ○ 14	10	8	0	2	16	277	218	59	
3	北國銀行	26 19 △ ● 26 27	33 21 ○ ● 22 28		21 ○ 20	28 35 ○ ○ 17 21	28 35 ○ ○ 15 16	32 ○ 13	10	7	1	2	15	278	205	73	
4	ソニーセミコンダクタ	21 25 ● △ 22 25	22 20 ● ● 26 27	20 ● 21		26 ○ 19	25 28 ○ ○ 16 16	28 28 ○ ○ 8 18	10	5	1	4	11	243	198	45	
5	三重ハイオレットアイス	17 12 ● ● 24 32	25 20 ● ● 30 28	17 21 ● ● 28 35	19 ● 26		25 24 ○ ○ 19 18	23 25 ○ ○ 16 11	11	4	0	7	8	228	267	-39	
6	飛騨高山ブラックブルズ岐阜	21 ● 23	17 ● 39	15 16 ● ● 28 35	16 16 ● ● 25 28	19 18 ● ● 25 24		23 25 ○ ○ 18 20	21 21 ○ ○ 18 20	10	2	0	8	4	180	265	-85
7	HC名古屋	7 16 ● ● 24 30	14 ● 30	13 ● 32	8 18 ● ● 28 28	16 11 ● ● 23 25	18 20 ● ● 21 21		10	0	0	10	0	141	262	-121	

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。